

22

3-1893

0142

電信課長

大臣

大官

付

3
5
8

亞細亞 米 通 條 情 人 文 會
計 書 事 報 約

件名
綴込名

色二

11097 暗96

本府着

大正十五年十一月十日午後二時

幣外務大臣

川前総領事代理

大正十五年十一月十日

第二二五號 (江口海)
性 三三號 閣

財政全権ハ更ニ四日附云文ヲ以テ本官ノ書簡ニ
對シ日本漁業者ノ税金支拂問題ハソノ聯政府ノ
法律並ニ日ソ基本條約ニ基キ 定レタルモノナ
ルヲ以テ今天日中大使ヨリ指令ヲ受ケラルル迄
未解決ノ儘留得スルノ理由存スル所納税ハ課セ
カルエトニ決定シタルニ依リ之ヲ取消レ均等稅
ノ組合ニ對シ支拂ヲ要求ス若シ之ヲ拒絕スル

寫送先

日對チハ條約ニ場及礦業ノ財産差押ノ方法ニ依
リ税金支拂ヲ強制スルニ至ルニ至ルニ至ルニ至ル
條約書官ハ十日附云文ヲ以テ日ソ基本條約第三
條第二項ヲ指摘シ財政全権ノ解散ハ本官ノ保障
ナル體格ノ要素ニ至ルカズ一九二四年六月廿七
日附アンドリアノフ外三名連署ノ電訓ノ精神ニ
先及ス條約ノ解除ハソノ聯政府ノ責ニ在リ
テ地方官署ノ關係スルニ非ス
本官ハ條約トシテ從來ノ見解ヲ固執ス本問題ニ
付テハ日中大使トソ聯政府トノ間ニ成立スベキ
協定ニ對シノ義務ヲ有スル旨回答レ置キタリ
本領事報スベキモ本件ニ関シ特ニ心得ベキコト
アテバ折返レテ同訓ヲ請フ
本領事報スベキモ本件ニ関シ特ニ心得ベキコト